

各 位

会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社 代 表 者 名 取締役社長 渡 邉 正 禮 (JASDAQ ¬一·番号: 6416) 問 合 せ 先 常務取締役 松 本 茂 弘 電 話 03-3758-0182

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月8日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、 お知らせいたします。

記

平成21年3月期 第2四半期連結累計期間予想数値の修正 (平成20年4月1日~平成20年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期 純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	9,600	1,000	1,300	900	58.73
今 回 発 表 予 想 (B)	9,584	1,002	1,111	598	39.05
増 減 額 (B-A)	△ 15	2	△ 188	△ 301	_
増 減 率 (%)	△ 0.2	0.2	△ 14.5	△ 33.5	_
ご参考: 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	10,342	1,375	1,584	822	53.69

平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成20年4月1日~平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	18,700	1,800	2,000	1,200	78.31
今 回 修 正 予 想 (B)	16,700	1,500	1,600	920	60.04
増 減 額 (B-A)	△ 2,000	△ 300	△ 400	△ 280	_
増 減 率 (%)	△ 10.7	△ 16.7	△ 20.0	△ 23.3	_
ご参考: 前期実績(平成20年3月期)	20,930	2,635	2,428	1,243	81.17

平成21年3月期 第2四半期個別累計期間予想数値の修正 (平成20年4月1日~平成20年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期 純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	6,200	150	400	240	15.66
今 回 発 表 予 想 (B)	6,072	149	254	129	8.45
増 減 額 (B-A)	Δ 127	0	△ 145	Δ 110	_
増 減 率 (%)	△ 2.0	Δ 0.3	△ 36.3	△ 46.0	_
ご参考: 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,692	515	596	341	22.31

平成21年3月期 通期個別業績予想数値の修正

(平成20年4月1日~平成21年3月31日) (単位:百万円)

				売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益(単位:円)
前回	発	表予	想(A)	13,000	430	750	400	26.10
今 叵] 修	正予	想(B)	12,000	150	290	150	9.79
増	減	額	(B-A)	Δ 1,000	△ 280	△ 460	△ 250	_
増	減	率	(%)	△ 7.7	△ 65.1	△ 61.3	△ 62.5	_
ご参考:	前期	実績(平成	20年3月期)	13,224	720	380	184	12.03

1

1. 業績予想の修正理由

(1) 第2四半期業績

① 連結

第2四半期連結累計期間の売上高は、前回予想の96億円を0.2%下回る95億84百万円、営業利益は、前回予想の10億円を0.2%上回る10億2百万円とそれぞれ概ね予定通りに推移する見込であります。 経常利益、四半期純利益は、9月下旬からの急激な円高で、第2四半期連結会計期間は為替差損が発生して、第1四半期に計上した為替差益2億70百万円は、第2四半期連結累計期間で26百万円と2億44百万円減少し、この影響を受け経常利益は、前回予想の13億円を14.5%下回る11億11百万円となる見込みであり、四半期純利益は、前回予想の9億円を33.5%下回る5億98百万円となる見込みであります。

2 個別

第2四半期個別累計期間の売上高は、前回予想の62億円を2.0%下回る60億72百万円、営業利益は、前回予想の1億50百万円0.3%下回る1億49百万円とそれぞれ概ね予定通りに推移する見込であります。 経常利益、四半期純利益は、第2四半期連結累計期間における上記修正理由とほぼ同様の理由により 経常利益は、前回予想の4億円を36.3%下回る2億54百万円となる見込みであり、四半期純利益は、前回予想の2億40百万円を46.0%下回る1億29百万円となる見込みであります。

(2) 通期業績

通期の連結・個別の業績予想におきましては、米国経済の減速で輸出の鈍化が続く懸念があり、 ユーロ圏経済やアジア圏経済は停滞し、当社グループにおける事業内容は厳しさが続くものと 思われます。

このような事業環境を踏まえて、当社グループの通期連結業績予想は、当第2四半期連結累計期間の結果及び下期の為替レートを1ドル=100円、1ユーロ=130円と想定して、売上高は前回予想の187億円を10.7%下回る167億円、営業利益は前回予想の18億円を16.7%下回る15億円、経常利益は前回予想の20億円を20.0%下回る16億円、当期純利益は前回予想の12億円を23.3%下回る9億20百万円とそれぞれ下方修正しております。

通期個別業績予想につきましても、通期連結業績予想とほぼ同様の理由により、売上高は前回予想の130億円を7.7%下回る120億円、営業利益は前回予想の4億30百万円を65.1%下回る1億50百万円、経常利益は前回予想の7億50百万円を61.3%下回る2億90百万円、当期純利益は前回予想の4億円を62.5%下回る1億50百万円とそれぞれ下方修正しております。

2配当予想について

配当予想につきましては、公表済みの予想に変更はありません。

(業績予想に関する留意事項)

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した ものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますが、修正の 必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

以 上